



皇居から見る丸の内ビル群(21年6月)

登録組織の皆様、明けましておめでとうございます。世界中に蔓延しているコロナ禍ですが、我が国は世界でも驚くほど感染者が少ない状況です。しかし今後どうなるかはわかりませんので、当面リモート審査の様子を見ながら徐々に現地審査に切り替えて行きたいと思えます。

DASジャパン株式会社

代表取締役 萩原睦幸

1. 岸田政権！

前政権の「原稿の棒読み」よりも多少良くなった感じはしていますが、今後さまざまな政策をどのように進めて行くのか、全国民が様子見の状況ではないでしょうか。しかしながら、問題とされてきた100万の文書通信交通費、森友問題、赤木ファイルなどのテーマなどはいずれも先送りされるような状況のようで、世界が激減する世の中であって、一向に改革が進まない日本のかじ取りに対して国民の怒りは、益々増大しているものと思われます。

2. 国会議員の特典！

年配者であれ新人であれ、国会議員それだけで歳費（年収）が2300万ほどもらえます。その他文書通信交通費として、年間1200万も支給され、これはどのような使い方であっても問われないというから、あきれてものが言えません。それに加え「フリーパス」なるものも与えられ、新幹線や飛行機にそのパスを見せれば乗り放題。しかも新幹線ではグリーン車を、飛行機ではビジネスクラス以上が保証されるというから、国会議員になりたい人が少なくないはずで。

一方DASジャパンの本部がある英国では、国会議員の多くはボランティア的な活動をする人が多く、歳費も800万程度であり、日本と比べようがないほどの安さです。

3. 所得格差！

日本は今、国民の間で「所得格差」が顕著になりつつあります。一昔前は「国民総中流」といわれ、ほとんどの人々が同じような生活ができていましたが、今はお金持ちはさらに所得が増え、貧乏人はますます収入がなくなり、明日の生活もままならない人が増えているのです。先日どこかのNPO法人が都内の公園で、恵まれない人たちに無料の差し入れ弁当を提供するニュースを目にしまし

たが、なんと弊機関の所在地のすぐわきの大きな公園でした。今後政府の無策がこのまま続くとなれば、益々所得の格差が大きくなり、将来を悲観した自殺者が増えるのは間違いないものと思われます。これがもしほかの国だったら、とっくに暴動に発展しているかもしれません。

4. 国民よ怒れ！

政府の無策や、国民が収めた税金を私的に利用して平然としている国会議員に、はっきりと「NO」を突き付け、本来の「国民主権」の政治を取り戻す時期に来ているのではないのでしょうか？
先の衆議員選挙でも、若者の投票数が伸びず、その理由として1票だけではとても政治は変えられないとの意見が多かったとか。まさに今の若者の特徴である消極性、そこそこの幸せ感、また煩わしいことに関わりたくないなどが行動に現れた結果だと思われます。
実はこの1票の重みがやがてマグマとなり、生きずらい世の中を変えることができるのです。
ましてや現代のSNSを利用すれば、世の中には何らかの考えに同調してくれる人が少なからずいて、いくらでも世の中を変えることができるはずですよ。

< DAS ジャパンから >

● DAS ジャパンの審査手法

DAS ジャパン株式会社は、我が国のISOの草分けである代表の萩原により設立されました。その審査手法は一貫して「当該組織に役立つ審査」を基本理念に、全国展開されています。現在の登録審査員は、萩原の理念に賛同し、代表と同じ審査手法で全国の組織に役立つ審査を提供すべく奔走しています。おかげさまで被審査側からの評価も上々で、操業以来審査に対する苦情はまったくない状況です。中でも一番の強みは、当該組織の現状をいち早く調査し、それに見合った、まさにオーダーメイドの審査手法にほかなりません。

● 執筆を通じての情報提供

代表の萩原は、日本で一番多くISOに関する著書を出版しています。特に近著の「ISOは経営をダメにする」(幻冬舎)は、全国のISO関係者に愛読され、ベストセラーになっています。また、最新刊の「名言」(ギャラクシーブックス)も、若者向けに執筆されましたが、内容は現代のビジネス書の位置づけであり、多くのビジネスマンに読まれています。本著の中で強調され一番印象に残るのは、4章「人間性」の項目だと思われます。今後ITやロボットが発達しようが、それを扱うのは人間であり、またビジネスの世界では、結局は「相手に信頼されること」が一番の成功の秘訣だとのくだりでした。考えてみれば当たり前のことですが、あらためてこの著書を読んで思いを新たにしました。(審査員 K.A)

(編集責任者 萩原由利)



英国系 ISO 認証機関 DAS ジャパン(株)
代表取締役 萩原睦幸
東京都豊島区東池袋 3-20-16-503
info@das-japan.jp
<http://www.das-japan.jp>